

## 再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	交通安全対策事業（歩道及び自転車歩行者道設置事業）				
地区名	一般県道 <small>つしまいなざわ</small> 津島稲沢線				
事業箇所	<small>あいさいしもつちゅうちょう</small> 愛西市持中町				
事業のあらまし	<p><small>つしまいなざわ</small> 一般県道津島稲沢線は、<small>つしまし いなざわし</small> 津島市と稲沢市を結ぶ幹線道路であるが、当該工区は<small>ふじなみ</small> 名鉄藤浪駅に近接しているほか、周辺には<small>せいりんかん</small> 清林館高校や<small>さおり</small> 佐織中学校、<small>きたごうた</small> 北河田小学校があり、住宅も立ち並んでいることから、歩行者の利用が多い。</p> <p>しかしながら、当該区間には歩道がなく、非常に危険な状況にあることから、歩道を整備することにより歩行者の安全性向上を図るものである。</p>				
事業目標	<p><b>【達成（主要）目標】</b> 歩行者等の安全確保</p> <p><b>【副次目標】</b> —</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2020年度)	再評価時 (2025年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2020年度～ 2024年度	2020年度～ 2026年度	用地交渉の長期化につき 事業期間延伸	
	事業費（億円）	2.6	2.3	下記の要因による	
	経費 内訳	工事費	0.3	0.6	労務単価増、資材単価高騰による増額
		用補費	2.0	1.2	用地補償費の精査による減額
		その他	0.3	0.5	設計計画の追加による増額
事業内容	歩道設置工事 延長 L=0.18km 幅員 W=9.25km	歩道設置工事 延長 L=0.18km 幅員 W=9.25km	—		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p><b>【事前評価時の状況】</b> 当該路線は、死傷事故率 117 件/億キロ、交通事故発生 4 件（H27～30）の状況にあり、周囲には鉄道駅や学校施設等があることから、安全な歩行空間の確保が必要である。</p> <p><b>【再評価時の状況】</b> 前回評価時から状況の変動要因はなく、引き続き整備の必要がある。</p> <p><b>【変動要因の分析】</b> 依然として安全・円滑な交通に支障をきたしており、引き続き整備の必要がある。</p>			
	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>		

		<p><b>【理由】</b> 依然として安全・円滑な交通に支障をきたしており、事業の必要性にほとんど変化がないため。</p>																																																																																																														
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p><b>【事業計画及び実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>当初計画</td> <td colspan="5">2.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="5">1.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="5">1.6</td> <td></td> <td>0.8</td> <td></td> <td>2.4</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【進捗率】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>達成率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.18</td> <td>0.11</td> <td>61%</td> <td>0.18</td> <td>61%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>2.6</td> <td>1.6</td> <td>62%</td> <td>2.4</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>67%</td> <td>0.6</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>  用補費</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>50%</td> <td>1.2</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td>133%</td> <td>0.5</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※面積ベースの用地取得率は64%</p> <p><b>【施工済みの内容】</b> 2021年度から用地取得に着手。 2023年度から工事に着手。</p>			2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	合計	工種区分	調査・設計									用地補償									工事									事業費 (億円)	当初計画	2.6								2.6	実績	1.6								1.7	今回計画	1.6						0.8		2.4		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.18	0.11	61%	0.18	61%	事業費(億円)	2.6	1.6	62%	2.4	67%	工事費	0.3	0.2	67%	0.6	33%	用補費	2.0	1.0	50%	1.2	83%	その他	0.3	0.4	133%	0.5	80%
			2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	合計																																																																																																						
	工種区分	調査・設計																																																																																																														
		用地補償																																																																																																														
		工事																																																																																																														
	事業費 (億円)	当初計画	2.6								2.6																																																																																																					
		実績	1.6								1.7																																																																																																					
		今回計画	1.6						0.8		2.4																																																																																																					
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																											
		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】																																																																																																										
延長(km)	0.18	0.11	61%	0.18	61%																																																																																																											
事業費(億円)	2.6	1.6	62%	2.4	67%																																																																																																											
工事費	0.3	0.2	67%	0.6	33%																																																																																																											
用補費	2.0	1.0	50%	1.2	83%																																																																																																											
その他	0.3	0.4	133%	0.5	80%																																																																																																											
2) 未着手又は長期化の理由	<p>用地交渉に時間を要しており、用地買収が長期化しているため。</p>																																																																																																															
3) 今後の事業進捗の見込み	<p><b>【阻害要因】</b> 用地交渉が長期化している。</p> <p><b>【今後の見込み】</b> 用地交渉が難航しているが、事業期間を延伸し鋭意交渉を進めることで、2026年度の完成を目指す。</p>																																																																																																															
判定	<p><b>B</b></p> <p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul>																																																																																																															

		<p>・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</p> <p>C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
<p><b>【理由】</b></p> <p>用地交渉が難航しているが、事業期間を延伸し鋭意交渉を進めることで、ほぼ計画通りの完成が見込まれるため。</p>		
<p><b>Ⅲ 対応方針</b></p>		
<p><b>継続</b></p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>	
<p><b>Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容</b></p>		
<p>■対象（事業完了後 年目）    □対象外</p> <p><b>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</b></p> <p><b>【主な評価内容】</b></p> <p>事業実施前後の歩行者等の安全性の変化</p>		